

会社全体で業務改革に取り組むための第一歩としてDX推進計画を策定。優先順位が高いと判断した「Web受注」の実現に向けて、具体的な導入計画を立案。

木次乳業有限会社				https://www.kisuki-milk.co.jp/index.html	
本社所在地	雲南市木次町東日登228-2	資本金	1,000万円	事業概要	乳製品の製造・加工販売、酪農、その他
代表者名	佐藤毅史	従業員数	78名		
設立年	1962年	業種	食品製造業		

背景

- 顧客情報管理の属人化により情報共有が滞っており、訪問記録や対応履歴を追える環境構築が必要だと考えている。
- 受注処理の煩雑化が業務時間を増大させており、取引先ごとの異なる条件に対応できる効率的なフローが必要だと考えている。
- 商品生産計画において経験と勘に頼る予測が商品ロスに繋がっており、より正確な予測を可能にする環境が不可欠だと認識している。
- 上記の業務課題解決や生産性の向上を目指し、会社全体の業務改革に取り組む意向である。

計画の骨子

目指す姿の定義

- ▶ デジタルを活用して業務効率改善や生産性向上を実現するとともに、そこに至るプロセスにおいて社員が積極的に参画し、計画実行を進めることを通じて、経営者主導での改善取組みが主となっていた従来の社内風土の変革を促すこととした。

取組施策の検討

- ▶ 現状の業務課題について、詳細分析したうえで、取組施策を検討し、優先順位の高い「Web受注」から取り組むこととした。

Web受注システムの導入計画の策定

- ▶ Web受注については、調査のうえ導入候補となるデジタルツールを選定とした。
- ▶ Web受注システムを導入する際に必要となる研修や会議体について計画立案した。